

建築基準法第12条第5項に基づく(工事監理・工事状況)報告書
鉄筋コンクリート造一

中間検査2・完了検査

(報告先)
横浜市建築主事

工事監理者が必要な物件
は必ず工事監理者が報告
を行ってください。

〇〇年〇〇月〇〇日

下記の建築物等は建築基準法関係規定に適合して施工され、構造上安全であることを確認しましたので、

報告者	<input type="checkbox"/> 工事監理者	住所	横浜市 〇〇区 〇〇町 123-1
	<input type="checkbox"/> 工事施工者	氏名	〇〇 〇〇

建築確認済証番号	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇確認[更]建築 〇〇〇
建築主氏名	〇〇 〇〇
建築場所	横浜市 〇〇 区 〇〇 町 〇〇 丁目 123-2

報告前に軽微な変更届等の
手続きをされている場合は
チェックをいれてください。

建築確認に要した図書と照合した結果、変更が ありません。

ありますので、別途必要な手続きをしました。

注) 構造の変更は、原則として変更確認申請が必要です。

確認事項	内容	照合方法(※1)	照合結果(※2)
1 敷地の安全性 (法19)	(1) がけ、擁壁の安全性	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 下水管、下水溝又はためます等の位置及び排出経路	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
2 敷地と道路の関係 (法42、43)	(1) 道路の位置、幅員及び種類	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 道路に接する敷地の長さ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 法42条2項道路の後退	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 法43条許可条件との照合	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
3 敷地形状、容積率、 建ぺい率 (法52～53の2)	(1) 敷地形状及び高低差	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 敷地境界の確認、建築物の位置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 建物形状	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 間取り、各室の用途及び床面積	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(5) 小屋裏物置等の大きさ及び開口	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
4 外壁後退(法54)	(1) 建物配置(道路、隣地からの離れ)	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
5 道路斜線、天空率 (法56)	(1) 建築確認図書の立面図との照合	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 地盤面及び前面道路の路面の中心からの建築物の各部分の高さ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 道路からの外壁等の後退距離	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 建物配置(道路、隣地からの離れ)	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
6 高度地区 (法58)	(1) 方位	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 北側敷地境界からの建物の離れ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 建築物の各部分の高さ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 建築物が周囲の地面と接する位置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
7 既存の建築物 (法86の7)	(1) 増築等に係る部分以外の部分について行う措置	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
8 確認表示板 (法89)	(1) 建築確認表示板の設置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 設計図書等の備え付け	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>

※欄については、3枚目の注意事項をお読みください。

確認項目	内 容		照合方法(※1)	照合結果(※2)		
1	全体	法第37条	(1) 鉄筋の規格及び品質	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			(2) コンクリートの規格及び品質	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		令第73条	(3)	鉄筋の継手、定着長さの位置及び長さ並びに工法	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>
				かぶり厚さの状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>
		令第79条	(4)	型枠中の清掃状況(木片、空き缶等のゴミ)	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>
				柱、はり、壁及び床版の位置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>
令第3章第6節	(6)	鉄筋の配置、径、継手及び定着の方法	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
2	柱	主筋(令77条)	(1) 柱の寸法、主筋の径、本数、配置及び出隅のかぎ状の折り曲げ形状並びに柱頭の鉄筋の位置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			(2) 各階止まり柱頭主筋の止まり高さ及定着状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		帯筋(令77条)	(1) 柱の帯筋の径、本数、配置及び形状	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			(2) 第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			(3) 主筋折曲げ部の帯筋補強	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			(4) 仕口部分の帯筋の配置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
(5) 帯筋のかぎ状の折り曲げ形状及び結束	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>				
3	床版の配筋(令77条の2)	(1) 床版の寸法及び支持条件並びに鉄筋の径、本数及び配置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(2) 主筋方法、ピッチ、径、スラブ厚	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(3) 定着方法、長さ	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(4) 継ぎ手の位置と長さ	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
	補強筋等(令77条の2)	(1) 床の出入隅部の補強の状況及び階段部の配筋状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(2) 片持ちスラブの定着と上端筋位置確保隅部、開口部、設備配管に対する補強	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
4	主筋(令78条)	(1) はりの寸法並びに主筋の径、本数及び配置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(2) 主筋の定着方法、長さ	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
	あばら筋(令78条)	(1) あばら筋の径、本数及び配置並びにかぎ状の折り曲げ形状及び緊結状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(2) 中つり筋の位置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(3) 継手の位置の長さ(重ね継手の場合)	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
		(4) 片持ち梁の主筋の位置と定着	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>		
(5) 貫通孔の位置、補強方法	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>				
(6) ハンチ部分のあばら筋補強	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>				
5	壁	壁筋(令78条の2)	(1) 壁の寸法並びに鉄筋の径及び配置	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		補強筋等(令3章8節)	(2) 目地(完全、部分)の位置及び形状並びに配筋状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
6	継手	(1)	ガス圧接継手の形状、位置ずらし	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		(2)	特殊継手の性能及び工法	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
7	型枠並びにコンクリートの施工状況	(1)	型枠及び支柱の締付及び清掃状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
			コンクリートの密実性の状況	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		(2)	コンクリートの調合及び圧縮強度	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		(3)	コンクリート打設後の養生	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
		(4)	型枠支柱存置期間	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>	
(5)	基礎、柱、はり、床版及び壁の寸法	a ・ b ・ c ・ d	<input type="checkbox"/>			

※欄については、裏面の注意事項をお読みください。

設計図書の内容について設計者に確認した事項等

なし。

検査対応者(代表者1名)の検査資格番号を記入。

検査会社名及び検査対応者名(代表者1名で可)を記入。

(コンクリートの四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等が設計通り) 検査者: (株)横浜〇〇建設)
 (圧接・溶接部の内部欠陥・強度検査の結果が設計通り) 資格: 〇〇〇〇 検査者: (株)横浜〇〇検査)
 横浜 太郎

《注意事項》

- (※1) 欄 : 現場で実施した照合方法を、a:目視、b:簡易な計測機器(スケール等)、c:動作確認、d:その他の中から選択し、記号を○で囲んでください。「d:その他」は、a～cの照合方法をとれないため、試験結果成績書等により確認するものです。下記照合方法に具体的に記載してください。
- (※2) 欄 : ・照合結果により適合している場合は、口内にレ点を記載してください。
 ・後続工程で中間検査時、未施工部分については、空欄(未記入)としてください。
 ・該当する項目がない場合は、照合結果欄全体に斜線を入れてください。
 ・中間検査時にチェック済みの項目についても、完了検査時に再度チェックしてください。
- (※3) 欄 : 地耐力が得られず、地盤改良等の措置を講じた場合は、別途報告書を提出してください。

その他の照合方法(※1)

項目番号	具体的な照合方法
1-(1)	ミルシート等により照合。
1-(2)	出荷証明書等により照合。
7-(2)	強度試験結果報告書により確認。

(例) 10-(2) 出荷証明書等により照合